

感染症 ひとくち情報

予防接種前の乳幼児への感染に注意しましょう!

2018年7月31日

東京都健康安全研究センター



1 百日咳とは

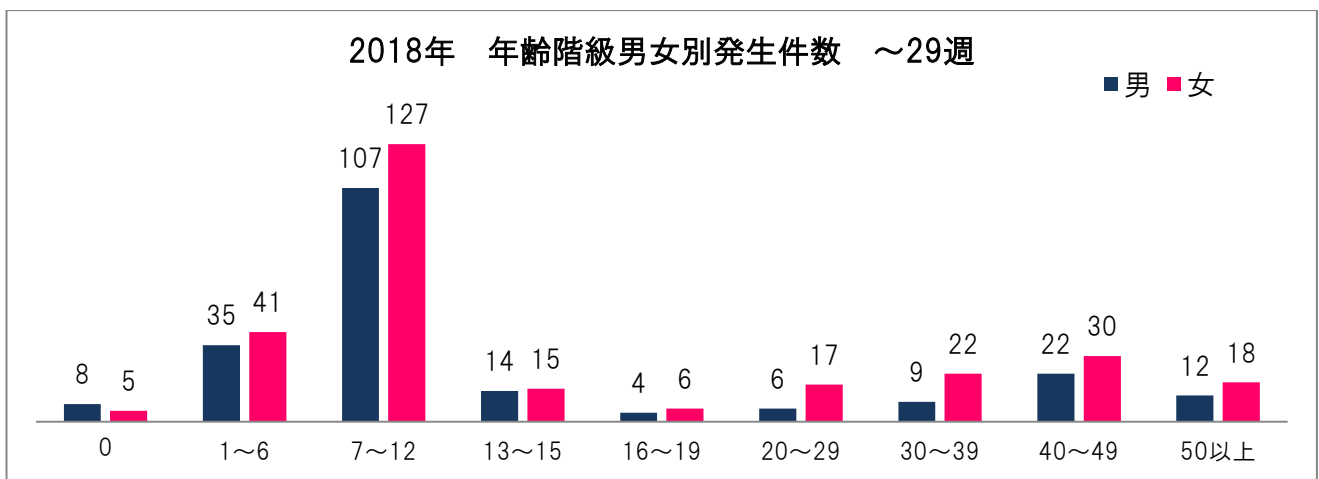
百日咳は、百日咳菌による感染症です。患者の咳やくしゃみなどのしぶきや痰に含まれる細菌によって感染（飛まつ・接触感染）します。風邪症状で始まり、徐々に咳の回数が増え、咳の症状も激しくなります。年齢が小さいほど典型的な症状が出現しないことも多く、無呼吸発作からチアノーゼ¹⁾になり、痙攣や呼吸停止等の重篤な状態になることもあり注意が必要です。

1) チアノーゼとは血液中の酸素濃度が低下して爪や唇が紫色になること。



2 乳児の感染経路

2018年1月より百日咳は国への全数報告疾患となり、29週までに498件の報告がありました。重篤化しやすい予防接種前の0歳児や就学前の乳幼児は、主に両親や同胞など身近な人が感染源であることが多いため、乳幼児がいる家庭は感染防止のための対策が必要です。



3 感染防止のポイント

有効な予防法は予防接種です。予防接種法に基づく定期予防接種が行われています。

幼い子供がいる家族内で患者が発生した場合には、予防的に抗菌薬を投与することが推奨されています。詳しくは医師に相談してください。日常の中では、おもちゃやタオルの共用は避け、子供の年齢に応じた咳エチケットを心がけましょう。また、手をしっかり洗いましょう。

咳エチケット

- ティッシュなどで口と鼻をおおう
- せき・くしゃみが続くときはマスクをする
- とっさのくしゃみは袖などでカバー



百日咳の検出状況や、今年の流行状況をお知りになりたい場合は、東京都感染症情報センターの「百日咳」のページをご参照ください。

百日咳 東京都

検索

